

・以下の集計値/グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

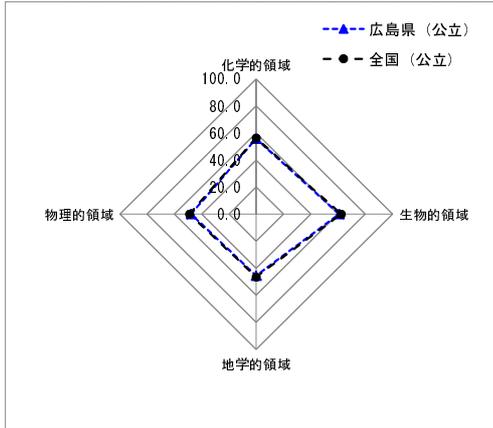
対象学校数	広島県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	広島県(公立)	全国(公立)
	242	9,689		21,981	1,016,572
分類	区分		対象設問数(問)	平均正答率(%)	
	全体			広島県(公立)	全国(公立)
枠組み	主として「知識」に関する問題		25	52.2	53.0
	主として「活用」に関する問題		18	48.7	48.8
学習指導要領の分野等	第1分野	物理的領域	7	47.7	48.9
		化学的領域	7	55.8	56.2
	第2分野	生物的領域	6	60.9	62.2
		地学的領域	6	45.6	46.4
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度		0		
	科学的な思考・表現		18	48.7	48.8
	観察・実験の技能		2	48.0	46.8
	自然事象についての知識・理解		5	66.5	70.6
問題形式	選択式		16	52.4	53.1
	短答式		4	57.9	61.6
	記述式		5	46.9	45.8

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別市町別平均正答率一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	枠組み 主として「知識」に関する問題	学習指導要領の分野等 第1分野 物理的領域	第2分野 化学的領域	第2分野 生物的領域	第2分野 地学的領域	評価の観点			問題形式		
								欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式
1(1)化学式	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	塩化ナトリウムを化学式で表すことができる	○		(4) イ(ア)						○	○	
1(1)濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることができる	○		(2) イ(ア)					○			○
1(2)	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ	実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することができる	○		(2) イ(イ)				○				○
1(3)	水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する	二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明することができる	○		(2) ア(イ)				○				○
1(4)	炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の変化のグラフから、温度と化学変化の記述として適切なものを選ぶ	グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取ることができる	○		(4) ア(ア) ウ(イ)				○				○
1(5)	ベーキングパウダーの原材料で、気体の発生に関係しているのが、炭酸水素ナトリウムであることを特定するための対照実験を選ぶ	炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定するための対照実験を計画することができる	○		(4) ア(ア)				○				○
1(6)	他者の考えを検討して改善し、炭酸水素ナトリウムとクエン酸の混合物を加熱したときの化学変化の説明として最も適切なものを選ぶ	他者の考えを検討して改善し、混合物を加熱したときの化学変化を説明することができる	○		(4) ア(ア)				○				○
2(1)	天気図から風力を読み取る	天気の記事から風力を読み取ることができる	○				(4) ア(ア)				○		○
2(2)	天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ	天気の記事から風向を読み取り、風向計を使って風向を観測することができる	○				(4) ア(ア)			○			○
2(3)	湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する	他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することができる	○				(4) イ(ア)		○				○
2(4)	上空を飛行中の飛行機内での菓子袋の膨らみを検証する実験について、空気を抜く操作に対応する飛行機の状態を推論する	気圧の変化で菓子袋が膨らむことについてモデルを使った実験を計画することができる	○	(1) イ(イ)			(4) イ(ア)		○				○
3(1)	13時から16時の四つの気象観測の記録から、最も高い湿度を選ぶ	露点を測定する場面において、最も高い湿度の時刻を指摘することができる	○				(4) ア(ア) イ(ア)		○				○
3(2)	上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	一定の時間に多くの雨が降る原因を探る実験を計画することができる	○				(4) イ(ア)		○				○

<学習指導要領の分野等の平均正答率の状況>



設問番号	全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		県立広島中学校	
					呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市		庄原市
																安芸高田市	安芸太田町	北広島町								
教科全体	53.0	52.2	50.9	48.8	53.9	50.7	53.9	55.7	55.2	52.0	56.6	56.8	55.3	59.6	61.1	52.4	58.3	56.8	53.5	52.1	52.4	53.2	55.1	53.0	54.9	85.2
1 (1) 化学式	79.6	76.9	77.5	73.3	74.6	75.3	84.3	79.8	81.8	78.5	84.2	76.3	82.3	88.4	86.1	74.5	86.8	85.3	80.9	70.9	67.3	85.6	65.8	73.6	73.4	98.1
1 (1) 濃度	45.0	46.8	46.1	41.5	48.6	44.7	44.9	52.5	49.7	45.1	51.7	51.8	53.1	69.4	55.6	49.5	54.7	54.7	46.9	42.6	48.3	50.8	60.3	41.8	48.3	94.9
1 (2)	32.6	31.9	30.8	30.4	33.3	32.1	31.4	35.7	31.5	31.9	32.7	37.1	38.5	41.3	22.2	26.0	24.5	31.3	28.8	31.7	35.7	31.1	35.6	32.2	24.3	86.6
1 (3)	53.0	51.1	46.6	53.7	51.0	50.5	61.6	60.7	49.4	50.0	50.4	50.0	58.4	58.7	61.1	40.1	60.4	62.0	52.0	53.5	58.6	61.4	56.2	51.7	53.9	89.8
1 (4)	73.6	73.4	72.6	70.9	73.9	77.9	77.3	74.9	77.4	74.3	76.9	73.2	74.8	74.4	80.6	74.0	84.9	78.0	74.5	72.8	71.5	73.5	78.1	75.4	74.2	96.2
1 (5)	51.7	53.0	52.0	49.1	56.8	52.6	50.8	57.5	52.6	56.3	56.6	51.8	54.0	64.5	52.8	51.6	66.0	58.7	54.0	51.8	56.5	56.1	56.2	54.0	48.7	96.2
1 (6)	57.7	57.1	55.6	55.1	58.2	54.2	55.7	60.0	59.3	57.6	62.6	61.2	63.3	66.1	63.9	58.3	64.2	53.3	61.5	55.6	59.2	56.8	69.9	58.9	53.9	90.4
2 (1)	77.9	74.5	74.0	69.0	78.3	67.9	73.0	74.6	79.3	71.5	82.1	83.0	74.8	57.0	97.2	82.8	77.4	86.7	79.4	71.7	69.1	81.8	63.0	83.2	78.7	99.4
2 (2)	48.6	49.2	48.4	47.8	51.2	40.5	47.6	46.1	56.7	46.5	47.8	44.6	46.9	51.2	50.0	50.5	41.5	51.3	52.7	52.3	54.7	48.5	52.1	53.8	50.6	46.5
2 (3)	14.5	15.0	16.6	10.3	15.2	13.2	14.6	16.2	13.7	15.3	19.5	11.6	10.2	13.2	19.4	11.5	28.3	19.3	16.1	12.2	10.5	14.4	17.8	11.7	16.5	56.7
2 (4)	62.2	58.8	58.0	55.4	60.1	57.9	56.8	61.6	61.5	56.3	65.7	71.4	52.7	62.0	80.6	53.6	58.5	65.3	57.7	61.2	56.5	59.1	69.9	59.8	58.4	84.7
3 (1)	36.5	35.4	35.1	31.8	38.0	34.2	31.4	37.0	37.9	29.9	38.4	39.3	34.1	38.8	61.1	35.4	47.2	37.3	39.0	35.7	30.6	32.6	34.2	30.1	37.8	72.0
3 (2)	39.0	40.7	39.8	38.4	40.0	45.8	34.6	44.3	42.2	40.3	46.8	45.5	46.5	46.3	44.4	40.6	47.2	34.0	41.5	41.4	40.5	39.4	37.0	39.1	43.1	82.2

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

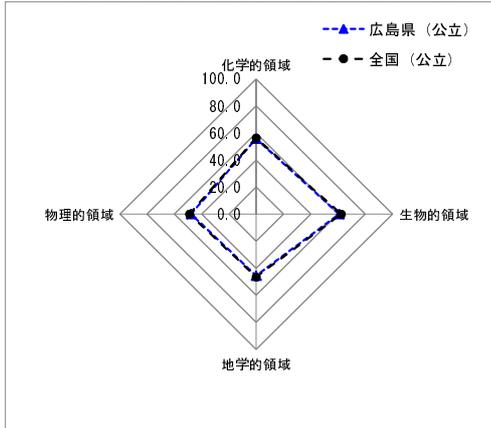
対象学校数	広島県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	広島県(公立)	全国(公立)
	242	9,689		21,981	1,016,572
分類	区分		対象設問数(問)	平均正答率(%)	
	全体			広島県(公立)	全国(公立)
枠組み	主として「知識」に関する問題		25	52.2	53.0
	主として「活用」に関する問題		18	48.7	48.8
学習指導要領の分野等	第1分野	物理的領域	7	47.7	48.9
		化学的領域	7	55.8	56.2
	第2分野	生物的領域	6	60.9	62.2
		地学的領域	6	45.6	46.4
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度		0		
	科学的な思考・表現		18	48.7	48.8
	観察・実験の技能		2	48.0	46.8
	自然事象についての知識・理解		5	66.5	70.6
問題形式	選択式		16	52.4	53.1
	短答式		4	57.9	61.6
	記述式		5	46.9	45.8

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別市町別平均正答率一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の分野等				評価の観点			問題形式				
			枠組み 主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	第1分野 物理的領域	第2分野 化学的領域	第2分野 生物的領域	第2分野 地学的領域	欲・態度 自然事象への関心・意	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式
4(1)	実験の結果から、凸レンズによる実像ができるときの、像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ	凸レンズによってできる像を調べ、実験の結果を分析して解釈し、規則性を指摘することができる	○	○	(1) ア(イ)				○			○		
4(2)	ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ	他者の考えた実験の方法を検討して改善し、適切な方法を説明することができる	○	○	(1) ア(イ)				○			○		
5(1)	抵抗に加わる電圧と流れる電流から、抵抗の大きさを計算して求める	オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	○	○	(3) ア(イ)							○	○	
5(2)	電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する	技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することができる	○	○	(3) イ(ウ)				○					○
6(1)	音の波形を比較し、音の高さが高くなった根拠として、正しいものを選ぶ	日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することができる	○	○	(1) ア(ウ)				○			○		
6(2)	音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ	音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することができる	○	○	(1) ア(ウ)				○			○		
7(1)	消化酵素によって、デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ	デンプンが消化酵素によって分解されて、最終的にできる物質の名称を表すことができる	○	○	(3) イ(ア)							○	○	
7(2)	キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ	実験の結果を分析して解釈し、キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘することができる	○	○	(3) イ(ア)				○			○		
7(3)	キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から、適切な課題を記述する	見いだした問題を基に、適切な課題を設定することができる	○	○	(3) イ(ア)				○					○
8(1)	背骨のある動物の名称を答える	背骨のある動物を、セキツイ動物と表すことができる	○	○	(3) ウ(ア)							○	○	
8(2)	えらぶたの開閉回数の平均値を求める理由として適切なものを選ぶ	平均値を求める場面において、平均値を求める理由を説明することができる	○	○	(3) イ(ア)				○			○		
8(3)	課題に対して適切な(課題に正対した)考察になるよう修正する	他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な(課題に正対した)考察を記述することができる	○	○	(3) イ(ア)				○					○

<学習指導要領の分野等の平均正答率の状況>



設問番号	全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		県立広島中学校	
					呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市		庄原市
																安芸高田市	安芸太田町	北広島町								
教科全体	53.0	52.2	50.9	48.8	53.9	50.7	53.9	55.7	55.2	52.0	56.6	56.8	55.3	59.6	61.1	52.4	58.3	56.8	53.5	52.1	52.4	53.2	55.1	53.0	54.9	85.2
4 (1)	43.7	42.8	42.6	38.5	45.4	47.4	38.4	44.3	46.5	41.0	48.3	41.5	40.3	53.7	77.8	47.4	52.8	39.3	40.7	41.1	41.4	33.3	45.2	44.6	43.8	84.7
4 (2)	50.3	49.5	48.6	47.8	51.1	45.3	47.0	50.9	51.7	54.2	48.3	52.2	47.3	53.7	58.3	48.4	58.5	54.0	47.6	49.6	51.4	41.7	54.8	49.4	53.9	83.4
5 (1)	59.6	55.3	55.7	47.3	56.2	55.3	65.9	59.4	59.3	45.1	59.0	66.5	65.9	66.9	75.0	46.4	62.3	60.0	59.4	53.2	56.2	53.0	39.7	48.7	63.3	94.9
5 (2)	56.8	59.9	55.9	56.5	61.9	62.6	70.3	64.3	65.9	66.0	71.4	78.6	73.5	73.6	55.6	58.9	75.5	63.3	66.6	60.6	60.4	65.2	63.0	61.6	71.9	87.9
6 (1)	40.1	39.1	37.9	36.8	41.4	27.4	42.7	45.9	39.3	36.1	35.1	46.9	30.5	43.0	41.7	39.6	39.6	44.7	36.9	40.6	47.7	39.4	37.0	42.1	40.1	63.1
6 (2)	29.9	28.8	27.9	26.5	30.7	26.8	28.1	32.7	30.8	25.0	29.9	25.0	31.0	36.4	33.3	27.1	24.5	34.7	28.8	29.4	27.0	22.7	24.7	31.7	30.0	61.8
7 (1)	72.2	71.1	71.4	66.0	72.5	67.9	75.7	72.9	74.6	64.6	76.6	74.6	71.7	79.3	80.6	75.5	69.8	69.3	69.9	69.0	71.2	72.0	80.8	71.3	74.9	92.4
7 (2)	76.4	75.4	74.7	70.8	77.6	76.8	74.6	78.9	77.8	72.9	80.8	76.3	74.8	79.3	80.6	81.3	84.9	82.0	77.5	74.7	73.9	77.3	80.8	75.4	80.1	98.1
7 (3)	57.3	60.1	56.5	57.3	61.4	62.1	69.2	63.7	65.7	68.8	66.8	72.3	66.4	78.5	58.3	66.7	67.9	76.0	63.9	59.7	61.9	68.9	72.6	63.2	71.5	91.1
8 (1)	63.9	54.9	47.4	51.4	60.5	51.1	62.7	65.0	63.0	64.6	73.5	71.9	75.7	71.1	91.7	55.7	62.3	68.7	59.4	64.7	49.5	63.6	67.1	61.8	67.4	86.0
8 (2)	55.7	55.5	54.3	51.4	58.5	47.4	58.9	60.4	57.8	58.3	56.9	58.5	58.4	61.2	55.6	56.8	62.3	58.7	52.0	56.8	61.0	49.2	61.6	57.7	61.4	98.1
8 (3)	47.4	48.6	46.4	43.4	50.1	51.6	49.7	52.9	54.7	50.7	53.5	58.5	56.6	61.2	44.4	57.3	54.7	52.0	49.5	50.0	50.5	51.5	53.4	52.4	51.7	94.3